

国産花きイノベーション推進事業の拡充

政策提言先 農林水産省

政策提言の要旨

国産花きは、その産出額が過去5年間で約930億円減少していますが、近年国際的に極めて高い評価を得ており、国産花きのイノベーション実現により、国産シェアの奪還と輸出の拡大が求められています。

そのためには、各産地、あるいは各県が連携して実施している展示・商談会等、産地と実需者のマッチングの機会を増やし、ニーズに応じた国産花きの生産・供給体制を強化していく必要があります。

また、花きの消費を拡大し、より広く身近に国民に楽しんでもらうため、品目や品種毎に異なる鮮度保持等の情報を流通・小売業者や消費者により広く周知するとともに、日常に花のある生活を定着させるためのプロモーション活動の強化を提言します。

【政策提言の具体的内容】

- 1 国産花きのシェア奪還のためには、産地と実需者のマッチングの機会を増やすことが必要であるので、各県それぞれに開催している展示・商談会や各県連携による展示・商談会、また、新たに産地で開催する展示・商談会等への支援を強化すること。
- 2 流通業者や消費者への鮮度保持技術の周知や、花きの魅力を伝える取り組みに対する支援を強化すること。
- 3 東京オリンピック、パラリンピックを花いっぱい環境で迎えるために、今後6年間において日常生活に花を定着させる取り組みとして、おもてなしフラワー文化の普及や、大切な人に大切な日に花を贈るアニバーサリーフラワー運動等を行うこと。

【政策提言の理由】

- 1 消費地での展示商談会は、新たな取引先の開拓など有利な点も多いものの、産地の経費負担が大きくなっています。また、I F E X（国際フラワーEXPO）などは輸入会社が多く、国産花きの商談の場としては十分ではありません。今後、国産花きのシェアを奪還するには、さらに多様な実需者とそのニーズに応じたマッチングが求められており、県単独、各県連携の商談会への支援強化が必要です。
- 2 花きの消費拡大には、品目、品種に応じた鮮度保持技術を流通業者や消費者へ普及させる必要があるものの、産地や研究機関が開発した鮮度保持技術等の情報が広く周知できていません。そのため、これらの技術情報の周知を図るための出前授業やリーフレット作成等への支援が必要です。
- 3 東京オリンピック、パラリンピックに向けたおもてなしフラワー等新たな需要の創出が必要です。また、野菜350g、果物200g／日摂取量運動のように身近に花を楽しむ機運を高める運動が必要です。

【高知県担当課室】 農業振興部産地・流通支援課